

実践！マツオ式ピンポイントはんだ付け技法

例えば手はんだ付けの作業において、
1ヶ所、2ヶ所であれば教科書通りの形ができるけど、
連続作業を行うと不良（つの（突起）、なじみ不足）、が発生・・・
ということは、普段の作業において当たり前起きること・・・
と思っていないですか？



始めの1ヶ所2ヶ所は良いのだけれど・・・



連続作業をしていくと、不良発生⇒手直し！

原因は様々挙げられますが、実践！マツオ式ピンポイントはんだ付け技法は

○糸はんだのフラックスコントロール (特許第6470449号)

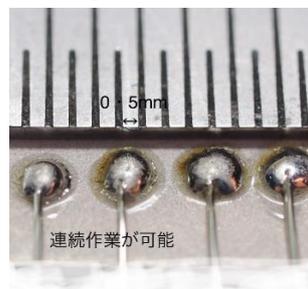
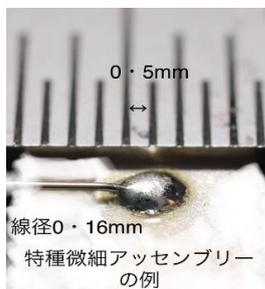
○こて先の管理 (特許第6457136号)

に焦点を当てた、手はんだ付けの作業の改善を目指したノウハウです。

- ✓不良（つの、馴染み不足等）を減らす
- ✓先塗り、あと塗りのフラックスを減らす
- ✓こて先クリーニングの回数を減らす
- ✓はんだ使用量を減らす
- ✓ワーク、作業者への負荷を減らす

= 生産性 **UP!**

上記例の他、**特殊素材の微細はんだ付けにも効果**を発揮します。



実践！マツオ式ピンポイントはんだ付け技法は、
すべてのはんだ付けにかかわる方が知っておくべき

基本的な実践ノウハウです。

“何気ない当たり前の作業が、コントロールされた作業へ変化します”